

新しい左京区基本計画づくり

ニュースレター 第7号

発行日 平成22年2月23日
発行者 左京区役所区民部総務課
Tel 771-4235



第3回 次代の左京まちづくり会議 を開催しました！

1月19日に北山ふれあいセンターにおいて、第3回の「次代の左京まちづくり会議」を開催しました。会議では、これまでに開催した「次代の左京まちづくり会議」「左京区住民円卓会議」で出た意見を分野別・項目別に整理してまとめた「新左京区基本計画素案（検討素案）」について、委員の皆様にご意見交換を行っていただきました。今後、円卓会議委員の皆様にも御意見をいただくとともに、会議で更に協議を進め、平成23年度中の計画策定に向けて取り組んでまいります。

●意見交換の内容●

- これまでに開催した「次代の左京まちづくり会議」における意見交換の内容、「左京区住民円卓会議」で出た意見などを分野別・項目別に整理し、「新左京区基本計画素案（検討素案）」をまとめた。この検討素案を叩き台として、委員の皆様から様々な意見をいただき、内容を充実させていきたい。



美しい自然のまちづくり

歴史・文化・学問のまちづくり

- 検討素案には、左京区の豊かな自然環境を生かして南北の交流を進めることが示されており、これに基づいて北部地域の活性化を進めていきたい。
- 北部ではシカやイノシシは有害鳥獣となっているが、イタリア料理やフランス料理では高級食材として扱われる。左京区には有名な料理人もいるので、こうした食材をうまく活用すれば、食を通して北部と南部の交流を図ることができるのではないか。
- 京都大学内の学食では南丹市美山町で捕獲されたシカを使った新メニューが提供されている。こうした取組を進めていくには、区民と行政、事業者、大学などが連携する必要がある。
- 左京区には暮らしの中で育まれた素晴らしい「食の文化」があり、さらには食を支える人材がいる。こうした食をいかした取組もぜひ盛り込んでいただきたい。
- 素案では、林業の記述はあるが農業についてはあまり書かれていない。京野菜をはじめとして、農業振興も大きな課題である。最近、農家の後継者不足により農地の転用が急速に進んでいる。左京区でも、農業を今後どうしていくかを考えていく必要がある。
- 東京などでは、農家の方が公園などの空きスペースで農作物を直接販売する「産直マルシェ」という仕組みが広がっている。左京区では大原の朝市が有名だが、それ以外でも、左京区のマルシェができるのではないか。
- 素案にはいくつかの取組項目が掲げられているが、自然と農業、自然と観光、文化と食、食と人材などは連動していくので、それぞれの取組項目をうまく結び付けていきたい。

ひとにやさしい 温もりのあるまちづくり

- 今の子どもは、幼い頃から自然とふれあったり、外で遊ぶ体験があまりないため、外に出て遊ぶとしない。子どもを自然に向わせるには、キャンプに連れて行ったり、林間学校に行くなど、何らかの形で地域の大人や行政などが協働で手をかけていく必要がある。
- 自転車に乗る時の交通ルールや運転マナーを教えるために中学校へ行くことがあるが、大人のマナーの方が悪いことがある。大人が子どもに率先してマナー向上に努めることが大事である。
- 学校で自分たちが住んでいる地域のことを子どもに伝えるための学習に取り組んでいる。こうした学習を左京区内の子ども達みんなが受けられるようにしていけばよい。
- 子どもが自分の地域で学んだことを、自分の学校だけでなく他の学校でも発表するなどの取組を広げれば、更に地域間のつながりを深められるのではないか。

- 左京区の南北間ではあまり情報が共有されていないように感じる。南北間が非常に広く、南部も北部もそれぞれで生活ができるために、協働の意識が芽生えにくいことに問題があると思う。今後は、地域の団体等による連携を更に進めていきたい。
- 左京区でも、今後10年間で高齢化が更に進んでいくと思われるので、高齢者への支援、バリアフリーの推進などについては、次期計画において取り上げていくべきである。



- 地域間の連携を深め、人のつながりを築くことができれば、子どもや高齢者を支えるしっかりとした仕組みづくりができる。その意味で「交流・共生」は非常に重要なテーマである。
- 全国の過疎地域では少子高齢化が深刻な問題となっているが、左京区は家族で定住するための物質的環境に恵まれている。そのため、左京区としては、今後は物質的環境ではなく、文化的な面で更に良い環境づくりを進めることが重要である。

●新左京区基本計画素案（検討素案）の概要●（※会議資料より抜粋）

区民一人ひとりが
できること

区民と行政・事業者・大学等
が協働ですること

行政（区役所・市役所）が
すること

取組指針 その1

～美しい自然のまちづくり～

左京区は豊かな自然に恵まれたまちです。
この緑あふれる美しい自然を守り育てるとともに、
自然と調和するまちづくりを進めます。

【取組項目】 ●自然環境 ●まちの美化 ●歩きやすいまち
●自然との調和・景観・都市基盤整備 ●防災・消防

取組指針 その2

～歴史・文化・学問のまちづくり～

左京区は多彩な歴史・文化が息づくとともに、
多くの大学が集まる学問のまちです。
この魅力を更に高めるまちづくりを進めます。

【取組項目】 ●歴史資源・文化財 ●伝統行事・伝統文化
●国際交流・観光 ●文化・芸術 ●大学のまち

取組指針 その3

～ひとにやさしい温もりが伝わるまちづくり～

左京区には約17万人の人が暮らしています。
子どもからお年寄りまで、すべてのひとに
やさしい温もりが伝わるまちづくりを進めます。

【取組項目】 ●子ども ●高齢者 ●障害のある方
●市民参加 ●交流・共生

左京区の魅力・課題

10年後の左京区の将来像・夢